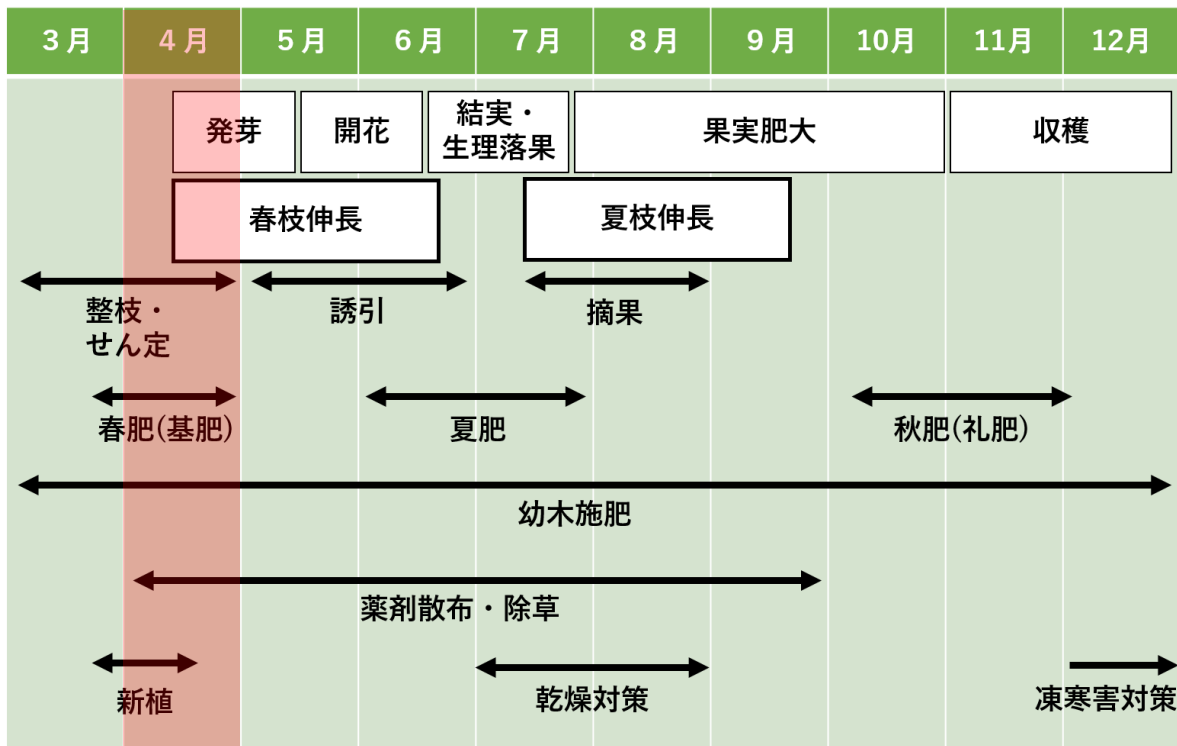


ゆず栽培技術情報 4月号

★ポイント★

- ・ 春枝の充実や果実の肥大を促すため、春肥（基肥）を施用しましょう。
- ・ 新植する場合は、生育を良くするため、正しく植え付けをしましょう。

1 4月の栽培管理について



2 春肥の施用について



春肥（基肥）は、春枝^{*}の伸長や果実の肥大に有効です！

^{*}春枝…春に伸長し、次の年に果実をつける可能性がある枝（結果母枝）。

- ・ 地温が12℃以上になる3月下旬～4月に実施しましょう。地温が十分に上がると、樹が肥料を吸収しやすくなります。

(1) 成木（樹齢7年以上の樹）の施肥

時期	成分量(kg/10a)			種類別施肥量(参考)		
	窒素(N)	リン酸(P)	カリ(K)	アップル1号 (N:P:K=17:7:13)	低カリ有機入 果樹肥料 (N:P:K=10:8:5)	発酵鶏ふん (N:P:K=2:6:3)
4月 (春肥)	9~11	6	8	1樹当たり550g (10a当たり60kg)	1樹当たり900g (10a当たり100kg)	1樹当たり5kg (10a当たり500kg)

※1樹当たり施肥量は、111本/10a(3m×3m)を基に算出。

幼木～若木は、毎月（3～10月）の施肥をおすすめします！

(2) 幼木（樹齢1～6年の樹）の施肥

時期	樹齢	成分量(kg/10a)			種類別施肥量（参考）			
					アップル1号 (N:P:K=17:7:13)		発酵鶏ふん (N:P:K=2:6:3)	
		窒素 (N)	リン酸 (P)	カリ (K)	1樹当たり 施肥量(g)	10a当たり 施肥量(kg)	1樹当たり 施肥量(g)	10a当たり 施肥量(kg)
毎月 (3月 ～ 10月)	1	1.5	1.2	0.9	80	9	680	75
	2	1.6	1.3	1.0	90	10	730	80
	3	1.6	1.3	1.0	90	10	730	80
	4	2.3	1.8	1.4	120	13	1,000	110
	5	3.0	2.4	1.8	160	18	1,350	150
	6	3.0	2.4	1.8	160	18	1,350	150

果実が成り始めたら、成木と同様に施肥します。

(3) 施肥の方法

株元の、根が伸長する部分に肥料を散布します。

降雨が少なく、乾燥気味の場合は、かん水を行うことで、肥効が良くなります！



🍊 栽培に適した土壌とは？

- ☆ pH：5.5～6.5
- ☆ 排水性の良い土壌

必要に応じて土壌診断を実施しましょう。

排水性が悪い場合は、溝を切る等の対策を行きましょう。



3 除草作業について

🍊 雑草防除により、肥料競合を避け、肥料の効果を高めましょう！

～雑草防除の効果～

- ・ 樹体と雑草の間で、肥料の養分競合が起こることを防ぎます。
⇒ せっかく施肥をしても、雑草が繁茂している場合は、効果を十分に発揮できない可能性があります！
- ・ 病害虫の発生源を断ちます。
⇒ 雑草は、アブラムシやカミキリムシ等の住処になります。

(1) 手刈り、機械除草（刈払い機、乗用モア等）

⇒ 刈草は、土づくりに役立つ重要な腐植源です！

除草剤のみを使用し続けると、土壌中の腐植の減少や、肥料・表土の流亡（地力の低下）が生じるため、機械除草等を組み合わせて上手に使用しましょう！

(2) 除草剤の使用

⇒ 面積の大きい園地等は、除草剤の使用により効率的な雑草防除が期待できます。

☆ かんきつで登録のある除草剤の例

薬剤名	有効成分	主な対象雑草	10a当たり散布量		使用時期	使用回数	同一の有効成分を含む農薬の総使用回数
			薬剤使用量	希釈水量			
パスタ液剤	グルホシネート	一年生雑草	300～500 mL	通常散布 100～150 L	収穫21日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	3回以内	3回以内
				少量散布 30～40 L			
		多年生雑草	500～1000 mL	通常散布 100～150 L			
				少量散布 30～40 L			
ザクサ液剤	グルホシネート Pナトリウム塩	一年生雑草	300～500 mL	100～150 L	収穫21日前まで (雑草生育期)	3回以内	3回以内
		多年生雑草	500～1000 mL				
サンダーボルト007	グリホサート イソプロピル アミン塩	一年生及び 多年生雑草	400～1000 mL	100 L	収穫7日前まで (雑草生育期)	3回以内	5回以内
	ピラフルフェン エチル						3回以内
ラウンド アップマッ クスロード	グリホサート カリウム塩	一年生雑草	200～1000 mL	通常散布 50～100 L	収穫7日前まで (雑草生育期)	5回以内	5回以内
				少量散布 5～50 L			
		多年生雑草	500～1000 mL	通常散布 50～100 L			
				少量散布 5～50 L			
		スギナ	1500～ 2000 mL	通常散布 50～100 L			
				少量散布 25～50 L			

☆除草剤の使用方法

- ・ 使用方法は雑草茎葉散布とし、散布水量は実面積に応じたものとします。
- ・ 多年生雑草が局部的に発生している場合は、高濃度で少量散布を行います。
- ・ 総使用回数とは、同一の有効成分を含むすべての薬剤を使用した回数の合計です。異なる薬剤であっても、同一の有効成分を含む場合は、使用回数に注意しましょう。
- ・ 幼木（樹齢1～6年生頃の樹）や、生育不良の樹は、除草剤の使用により薬害が発生し、枯死する場合がありますので、使用を控えましょう。
- ・ 果樹類の枝葉に飛散すると、落葉したり、幼木の生育に影響を与えたりする場合がありますため、周辺の果樹類に飛散しないよう注意して使用します。

4 苗木の定植とその後の管理について

(1) 定植前の準備

☆ 定植する園地について

- ・ もともと水田だった園地等、排水性の悪い園地は、苗木が順調に育たないため、うね立てや盛土、溝切り等の対策を行います。

☆ 植え付け間隔

- ・ 4 m × 3 m (83 本/10a) を基準にします。

☆ 植穴の準備

- ・ 定植の2週間前までに、直径1 m、深さ30cm程度の植穴を掘ります。

掘りあげた土に、完熟堆肥 10kg、苦土石灰 600kg、ようりん 300 g をよく混ぜておきます。

※ 定植後、根が伸びる範囲の通気性や排水性を改善します。

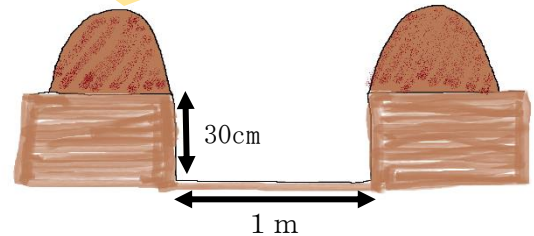


図1 植穴の準備

(2) 定植作業

☆ 植え付けの時期

- ・ 発芽前の3月下旬～4月中旬に行います。※ 当地域の発芽は、4月下旬～5月頃です。

☆ 植え付け方法

① 苗木の傷んだ根や長く伸びた根は、正常な部分まで切り返します。

② 掘り返した土を埋め戻しながら、根が乾燥しないうちに植え付けます。

⇒ 根は放射状になるように広げます。

⇒ 苗木を軽く持ち上げながら、足で軽く踏みつけ、なじませるように土をかぶせます。

⇒ 接ぎ木部が地表から3～5cm出るように植え付けます。

※ 接ぎ木部が土に埋もれると、穂木から発根したり、疫病菌に侵されたりします。

☆ 定植時に併せて行う作業

- ・ かん水…定植後、周囲に土手を作り、たっぷりとかん水します。
- ・ 支柱立て…かん水後、水が浸透するのを待って、深くまで支柱をさします。
- ・ 被覆…乾燥や雑草の発生を防止するため、ワラやマルチで苗木の周辺を被覆します。

深植え厳禁！

(3) 定植後の管理

① 芽かき

- ・ 接ぎ木部～上15cmまでは、主幹となる部分ですので、全て芽かきします。

- ・ 1か所から出る芽は1本に芽かきし、上下重ならない位置で5～6本残します。

② 施肥 ※「2 春肥の施用について」を参照

- ・ 定植1か月後から10月まで毎月施肥します。


③ かん水

- ・ 夏場、14日以上降雨がなければ、1樹当たり20Lを目安にかん水します。



図2 芽かきについて

5 ミカンハダニの防除について

 近年、ミカンハダニによる加害で、果実品質が低下している事例が見られます。

① 形態・生態

- ・ 雌は体長 0.5 mm 弱で、体は丸く、背中側に赤色のこぶがあり、こぶから背毛が生えています。卵は、赤色で直径約 0.15 mm と非常に小さいです。
- ・ 気温が高くなる夏以降に発生が見られます。
- ・ かんきつ以外に、なしやもも、りんご等にも寄生することがあります。



図3 ミカンハダニ雌成虫



図4 ミカンハダニ被害果及び被害葉

② 被害

- ・ かんきつの葉や果実に寄生し、吸汁加害します。加害痕は、白くかすれたような見た目になります。
- ・ ひどい場合には、葉が枯死、落葉し、果実は着色不良となります。

③ ミカンハダニ対策

- ・ 昨年、ミカンハダニによる被害が多かった園地では、発芽前（4月中旬）までにハーベストオイル（150倍）を散布します。
- ・ 夏期にミカンハダニの発生が見られる場合、7月中旬までにハーベストオイル（200倍）を散布します。

参考（引用）：高知県農業技術センター果樹試験場 令和6年（2024年）作成資料

【資料利用上の注意】

この資料は、令和6年3月15日時点の農薬登録情報に基づいて作成しています。

農薬は、使用前にラベルの表示事項を必ず確認の上、使用基準を遵守し、農薬使用者が責任をもって使用してください。また、農薬の飛散防止対策に努めてください。

★いわてアグリベンチャーネット URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★山火事防止運動月間（3/1～5/31）「忘れない 山の恵みと 火の始末」

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が起こりやすくなります。

特に「野焼き」は、山火事の最も多い出火原因ですので、注意してください。